

# 常陽中だより

第5号  
平成23年7月8日

## 来週は個人懇談会

11日(月)から懇談会が始まります。二者か三者かによって違いはあるでしょうが、生徒諸君にとっては嫌な会(?)のようです。個人懇談会は生徒・保護者・教師にとって絶対に必要なものです。では、どうすれば好ましくない会でなく、有意義な会になるのでしょうか？

懇談会は生徒の皆さんの「欠点」を指摘する場ではありません。帰宅後に親から叱られる材料を提供するのが目的ではありません。勿論、一学期をふり返り、反省すべき点を指摘されたり、成績について話をされるでしょうが、よく努力したところや成果を上げたところについても話が及ぶはずです。そして、何より重要なことは今後の展望です。次に何をなすべきかについて話し合い、自分自身の課題にねらい定めることです。

人間は点数だけでは評価できないところがあります。そんな点についてもきっと担任の先生は話してくれるはずです。この個人懇談会を竹の節のように、自分の成長の節にして下さい。

## 中学校総体奮戦記

7月2日から夏の市内総体が始まっています。私は、サッカー、剣道、野球、男子バスケットそしてバドミントンの応援に行ってきました。どの試合も真剣なプレーで、選手はもちろんのこと、応援する人達の意気込みが伝わってきました。結果は勝ったチーム、惜しくも敗れたチームと悲喜こもごもでした。

さて、試合では勝利の女神をどう引き寄せられるかが勝敗を分けるポイントになります。特に、相手が自分たちと同レベルまたは少し上くらいの時は、気持ち次第で結果は大きくかわります。実戦では「耐える力」がポイントになります。お互いの力が拮抗していると、試合が動かず我慢くらべになります。そんな時にどちらかが焦ってミスをしてしまうと、流れが一気に傾くという局面をよく目にします。そして、あっという間に大差がつき、一方的な試合展開になってしまいます。

では、こんな時に耐えられる人はどんな人

でしょうか？私は「素直な心」と「謙虚な気持ち」を持っているかどうかだと考えています。顧問やコーチのアドバイスに素直に耳を傾けることの出来る人や、多少不運なことがあっても、うまく気持ちを切り替え、引きずらない人は実力を十分発揮できます。

まだ勝ち残っているチームや阪神大会に出場できる人は沢山います。「素直な心」と「謙虚な気持ち」で納得のいく戦いをして下さい。

## ワクワクしていますか？

皆さんがワクワクするのはどんなことでしょうか？単なる好奇心のことではありません。誰でも他の人と違った自分だけの周波数やチャンネルを持っています。個性と言ってもよいでしょう。そのチャンネルが自分にピッタリ合った時がワクワクという状態です。ですから「今、自分がやっていることは、本当にワクワクすることなのか」とチェックしておかないといけません。

ワクワクすることは楽しいです。そして、楽しんでやっていると、周りの人が「何がそんなに楽しいの」と言って集まってくる。あれや、これやりというのではなくて、一番ワクワクすることを一所懸命やっていると奇跡が当たり前のように起こったりしてきます。

そして、ワクワクすることは、人のためになります。人のためにならないワクワクは長続きしません。ワクワクすることを見つけて下さい。

## 三浦 肇 先生が病気休暇に

2学年所属の三浦先生が怪我治療のために約3ヶ月間、休暇をとります。その間、**松原 肇**先生が代わりに赴任されます。松原先生には主として、3年生の1,3,4組の理科授業を担当していただきます。

なお、三浦先生は10月上旬に復帰される予定です。